

FUKUOKA UNIVERSITY FACULTY GUIDEBOOK

経済学部

Faculty of Economics

- 経済学科
- 産業経済学科



FUKUOKA UNIVERSITY

福岡大学

福岡大学
学部ガイド2027



経済学部
ウェブサイト



キャンパス
マップ

入学センター

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL: 092-871-6631 (代)

Micro & Macro

毎日の買い物から世界の動きまで。
経済学とは現在と対話すること、
将来を予測すること

経済学という科学的な学問

経済学はよく難しいと言われるようですが、なぜなのでしょう。おそらくそれは、経済の運営に多くの困難が伴うことや金融などの諸制度が複雑であることが、学問としての経済学が難解であるということと混同されているためであると思われます。本来、経済学という学問は、他の文系の諸学問と比べても教科書がよく整えられ、科学的に積み上げられた構造を持っているので、学習しやすく、また誰にでも修得可能なものなのです。

※本冊子に掲載している人物の情報は、2025年度取材時のものです。

目次	01
学部長メッセージ	01
自分の関心に合わせて作る「ユニット制」	02
学科紹介	06
経済学科	06
産業経済学科	08
科目ピックアップ	10
ゼミ紹介	12
経済学ってどんな学問？—特徴を二つ紹介—	14
経済学部Q&A	15
キャリア・就職について	16
教員・研究の紹介	17
暮らしの中にある経済学	21

▶ 経済学は理論的・演繹的！

経済学も人間の社会を対象にした学問の一つですが、社会、そして、経済といってもその範囲や規模は個人から見てとてつもなく大きなものです。ですから、経済学では、まず対象をどのように見るのかを、これまでの研究の蓄積から得た知恵で決めておかなければなりません。これが理論と呼ばれるものです。

経済学の理論体系には諸分野ありますが、大別するとミクロ経済学とマクロ経済学に分かれます。ミクロ経済学とは、その名のとおり、企業や家計など経済を構成する比較的小さな部分の行動から、経済全体を捉えていくという分野です。マクロ経済学は、個々の経済行動を国民経済単位でまとめて、主に経済の成長や変動を考察する分野です。

▶ 経済学は実証的・帰納的！

あらゆる学問の究極の目的は、人間の生活や社会に貢献し寄与することにあります。経済という私たちが生きていく上で基本となる分野を対象とする経済学では、そうした現実との対話が一層重要となります。

経済の分野には、金額や価格、数量で表された数値データがたくさんあります。経済学では、これらを収集し分析することで、データの背後に隠された内容や意味を考え、将来の予測などに役立てます。

また、理論の主張を、データを使って検証したりすることも経済学の研究には欠かせません。そのためにも、理論に基づき、社会や経済のあり方を単純な形で捉えておく必要があることが分かるでしょう。そうした単純化された表現を、経済学ではモデルと呼んでいるのです。

学部長メッセージ

論理的思考力と国際的な視点を兼ねた 実証力を有する人材を育成



経済学部長 李明哲 LI Mingzhe

経済とは、分かりやすく言えば、お金や人、モノ、情報、サービスの流れのことです。幸せな社会づくりには高度に発展された経済環境が必要不可欠です。それを実現するには、まず経済のメカニズムを究明し、経済システムが効率よく機能するための政策提言などを行わなければなりません。経済学とは、そのノウハウについて学ぶ学問です。

本学部では、経済学について体系的に習得できるように、共通教育や基礎教育から専門教育まで、少人数授業を含む充実したカリキュラムを設けています。2027年度からは新カリキュラムが開始し、学生一人一人がより主体的に学べる教育プログラムを提供します。経済学科では、経済学とその関連分野を体系的に学び、バランスの取れた知識と経済学的な考え方を身に付けます。一方、

産業経済学科では、企業や地域の課題解決を実践的に学び、実社会で生かせる「実学」を体験できます。

本学部には海外で学位を取得した教員、実務家教員を含め幅広い分野の教員が揃っています。私たち教員との「学び」を通して、皆さんが異なる価値観を理解し、国際的に活躍できる人材になることを願っています。皆さんが生きているこの時代、日本国内だけではなく国際情勢も不安定なものになってきています。社会の在り方も大きく変化し、これまでの常識が常識ではなくなってきました。このような時代を生き抜くにあって、皆さんは自分の目で見る、自分の頭でしっかり考える論理的思考力がより重要になってきます。経済学部での「学び」を通して、皆さんが多角的な視点に立って物事を分析できる人材になることも併せて願っています。

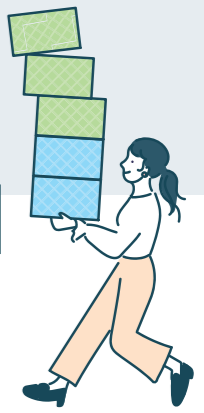


三つのポリシー

- アドミッション・ポリシー (AP) (入学者受け入れの方針)
- カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)
- ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)

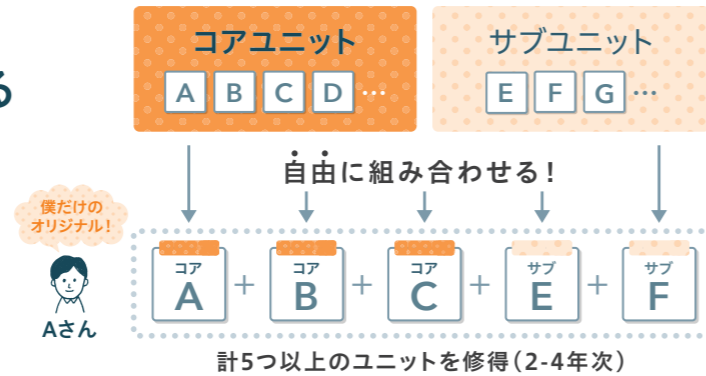


自分の関心に合わせて作る「ユニット制」



自分の学びをカスタマイズして 文理の壁を越えた強みをつくる

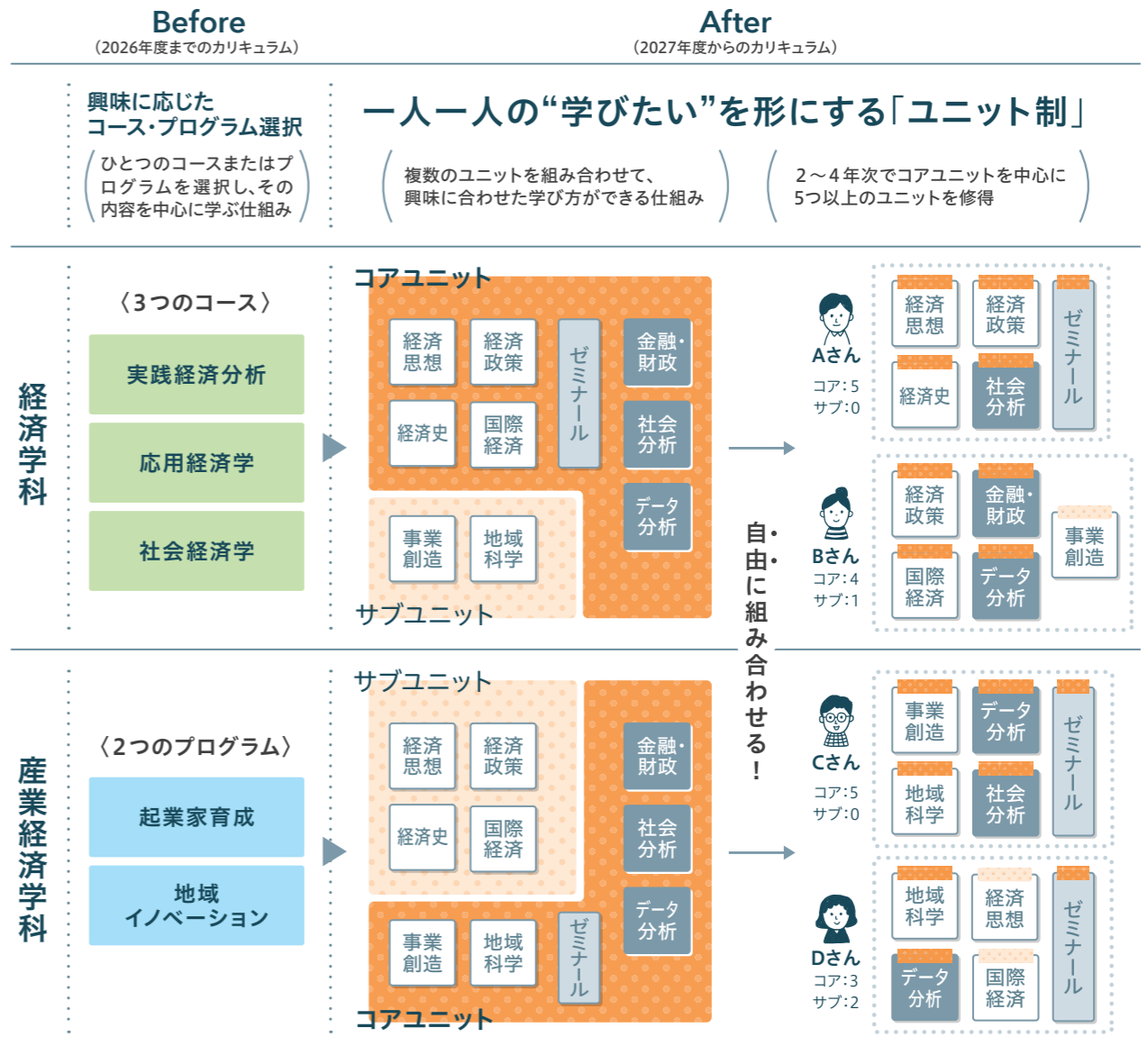
社会では、課題を自ら発見し解決する力や、文系・理系の枠を越えた幅広い学びが求められています。こうした変化に応えるため、経済学部は2027年度から新しいカリキュラムをスタートします。



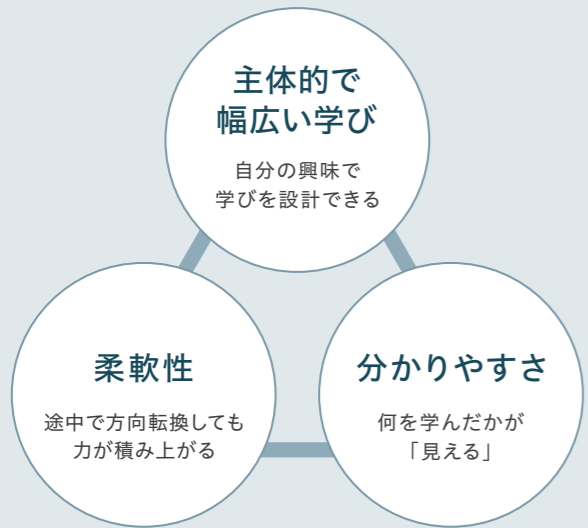
経済学科／産業経済学科の学びの違い

経済学科	産業経済学科
<ul style="list-style-type: none"> ● 経済の基礎となる理論を体系的に学び、その応用力を身に付ける ● 歴史的視点から、日本や諸外国の現状や変化を理解する ● 制度・政策の影響を評価し、社会問題の解決策を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ● 経済学やデータ分析の基礎となる知識と理論を修得する ● フィールドスタディを通して、地域や企業の課題を多角的に分析する ● 現場の課題に対して、実行可能な解決策を立案する

Before／Afterでみる経済学部の学び



Point 1 新カリキュラムの特長



Point 2 新カリキュラムの強み

強み 01 地域や企業の現場での実践的な教育プログラムの提供

経済学部では、これまで企業や地域との協働を通じた実地での教育プログラムを、主に産業経済学科で実施してきた実績があり、その強みは新カリキュラムでも継承されています。

強み 02 データ分析の学修

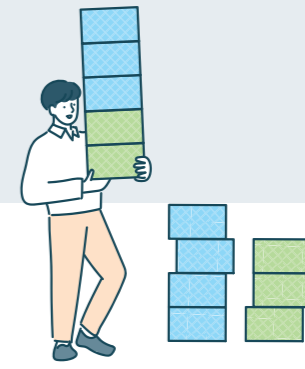
データに基づいた客観的な意思決定が求められる昨今の時勢に合わせ、経済学科・産業経済学科のコアユニットとして「データ分析」ユニットを設置し、教育プログラムを提供します。

Point 3 新カリキュラムで鍛える4つの力



- 専門性**：経済の仕組みを深く理解する
- 実践力**：課題を発見し、解決策をつくる
- 分析力**：データで読み解き、論理的に考える
- 主体性**：主体的に学び、多様な人と協働する

「ユニット」で広がる 学びの特色



経済学部の新カリキュラムでは、分野ごとに区分されたそれぞれの科目群(ユニット)が設置されており、経済学の幅広い分野を横断的に網羅しています。学生の皆さんは、2年次から自らの興味に従って5つ以上のユニットを選択できます。それぞれのユニットの特色を見てみましょう。



Q ユニットの選び方

- 1 自分の興味に沿って、ユニットを選択、修得します。
- 2 2~4年次で、5つ以上のユニットを選択して修得することが必要要件。そのうち、3つ以上はコアユニットから修得します。
- 3 学修は自学科のコアユニットを中心に進めることになります。

先生からのアドバイス 興味のあるユニットがあったら、そのユニットが「コアユニット」に該当する学科を希望するとよいでしょう。※受講人数制限のある科目では、コアユニットに該当する学科の学生の履修が優先されます。



経済学科のコアユニット

<h4>経済思想</h4> <p>多様な価値観や評価軸を学び、より良い社会のあり方を考える</p> <p>[科目例] 経済倫理、厚生経済学、経済学史</p> <p>[区分] (経済学科) (産業経済学科) コア サブ</p>	<h4>経済政策</h4> <p>経済制度の仕組みを理解し、政策の目的や効果を評価する</p> <p>[科目例] 情報経済学、社会保障論、労働経済学</p> <p>[区分] (経済学科) (産業経済学科) コア サブ</p>	<h4>経済学科ゼミナール</h4> <p>学生同士だけでなく教員も交えて議論を行いながら学びを深める、アウトプット重視の活動です。</p> <p>(経済学科) コア</p>
<h4>経済史</h4> <p>歴史的視点から、経済や社会の変化と課題を読み解く</p> <p>[科目例] 日本経済史、グローバル経済史、経済人類学</p> <p>[区分] (経済学科) (産業経済学科) コア サブ</p>	<h4>国際経済</h4> <p>国際経済の仕組みを理解し、各地域の課題とその解決策を分析する</p> <p>[科目例] 国際金融論、国際貿易論、経済成長論</p> <p>[区分] (経済学科) (産業経済学科) コア サブ</p>	

産業経済学科のコアユニット

<h4>事業創造</h4> <p>企業経営の理論や知識を学び、現場の課題を多角的に分析する</p> <p>[科目例] 価値創造プロジェクト論、戦略の経済学</p> <p>[区分] (経済学科) (産業経済学科) サブ コア</p>	<h4>地域科学</h4> <p>理論と現場を往復しながら、地域の課題を理解し、解決策を立案する</p> <p>[科目例] 地域経済論、地域科学論、環境経済学</p> <p>[区分] (経済学科) (産業経済学科) サブ コア</p>	<h4>産業経済学科ゼミナール</h4> <p>学生同士だけでなく教員も交えて議論を行いながら学びを深める、アウトプット重視の活動です。</p> <p>(産業経済学科) コア</p>
---	---	---

経済学科/産業経済学科 共通のコアユニット

<h4>金融・財政</h4> <p>金融や財政の動きを理解し、経済的な課題やその解決策を考える</p> <p>[科目例] 金融論、証券経済学、財政学</p> <p>[区分] (経済学科) (産業経済学科) コア コア</p>	<h4>社会分析</h4> <p>個人の意思決定を踏まえた分析を行い、望ましい制度設計を探る</p> <p>[科目例] ゲーム理論、マーケットデザイン</p> <p>[区分] (経済学科) (産業経済学科) コア コア</p>	<h4>データ分析</h4> <p>理論と演習を通して、データを活用し分析する力を磨く</p> <p>[科目例] 統計学、計量経済学、データサイエンス</p> <p>[区分] (経済学科) (産業経済学科) コア コア</p>
--	---	---

自由に組み合わせる！

Q ユニットの選び方を参照

経済学科の学生の場合…

経済学の考え方や歴史を学びたい。みんなにとって良い社会がどんなものか、興味がある。

Aさん
コアユニット:5
サブユニット:0



金融の仕組みや世界の経済について知りたい。データ分析の方法も学びたい。

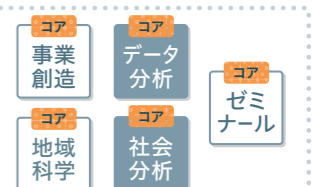
Bさん
コアユニット:4
サブユニット:1



産業経済学科の学生の場合…

企業の方と実際に関わりながら、経営について学びたい。課題を解決するための知識も欲しい。

Cさん
コアユニット:5
サブユニット:0



地域の課題について、フィールドワークをしながら学びたい。データ分析も修得したい。

Dさん
コアユニット:3
サブユニット:2



経済学科

Department of Economics



経済学を核に、社会を読み解く。

経済学の視点から制度や政策の仕組みを理解し、 国内外の課題に挑む力を養う。

経済学科では、経済学の基礎を身に付けた上で、関心に応じて関連分野を主体的に学ぶことができます。経済学の背景にある多様な価値観や評価の視点、経済や社会の歴史、国際経済の仕組み、制度や政策の動きなど、社会を理解するための幅広い領域を体系的に学修します。こうした学びを通して、経済に関わる制度や政策が人々の生活や社会にどのような影響を与えるのかを理解し、多様な価値観を尊重しながら、国内外のさまざまな課題に向き合い、その解決策を構想できる力を育みます。

求める人材像 (求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を幅広く学習しており、経済学および関連諸学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
- B 技能** 学習や課外活動から得た経験に基づきながら、自らの意見を持ち、それを論理的に説明できる人
- C 態度・志向性** 国内外における経済的諸問題に興味を持ち、経済学科で得た専門知識を社会のために活用したいと考えている人
- D その他の能力・資質** 自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



経済学科での4年間

1年次 基礎教育

経済学を修得する 土台を固める

経済学と関連諸学の基礎を学び、より発展的な学修への基礎を身に付けます。また、多様な教養科目を修得し、広い視野を養います。
「初年次演習」で高校から大学への学びを接続。必修科目、選択必修科目でユニットを中心とする専門科目を学ぶために必要な基礎理論を修得し、学修姿勢も培います。

2 / 3 / 4 年次 専門教育 / 論文・就職活動

ユニット科目を中心に専門性を深める

経済学科では、専門性を身に付けるため、8つのコアユニットから最低3ユニットを修得する必要があります。また、2つのサブユニットと合わせて合計10のユニットから5つ以上修得する必要があります。
コアユニットのうち「経済学科ゼミナール」は推奨ユニットに指定されています。少人数の演習形式で知識の習得だけでなく、話し合う力、調べる力、発信する力を培います。その他のコアユニットは「金融・財政」「社会分析」「データ分析」「経済思想」「経済政策」「経済史」「国際経済」があります。経済学科サブユニットは「事業創造」「地域科学」で、主に産業経済学科の学生のためのユニットです。経済学科生も選択できますが、この2つのユニットを修得したい人は産業経済学科がおすすめです。
ユニット科目の修得を通じて、1年次の基礎知識を土台として、それぞれの応用分野、発展分野の内容を修得していきます。伝統的な経済学およびその関連諸学の学修を通じて、国内外の諸問題を主体的に発見し、解決策を立案できる能力の向上を図ります。学びたい専門分野を学修者が自ら主体的に考え、修得するユニットを選びます。

卒業後

- 国内外の諸問題を主体的に発見・分析できる人
- 解決策を立案できる人
- 身に付けた能力を世界で、社会で発揮
- 自ら選んだ専門性を武器に視野の広い経済人へ

在学生の声
([『大学案内2027』])



学科
公式ウェブサイト



カリキュラム (2027年度入学生適用) ●必修科目 ○選択必修科目 ▲選択科目

	1年次	2年次	3・4年次	
専門教育科目	▲初年次演習 ●データ分析入門 ○経済学のための微積分 ▲経済学のための線形代数	経済学科ゼミナール データ分析 金融・財政 社会分析 経済思想 経済政策 経済史 国際経済	▲基礎演習A・B ○統計学 ▲データサイエンスA・B ▲金融論入門 ▲財政学入門 ▲社会分析入門 ▲行動経済学 ▲経済倫理 ▲社会思想史 ▲情報経済学入門 ▲日本経済論 ▲日本経済史A・B ▲西洋経済史A・B ▲国際経済学入門 ▲国際金融論A・B	▲演習A・B・C ▲演習Dおよび論文 ▲データ分析特別講義A・B ▲情報技術論 ▲証券経済学入門 ▲地方財政論A・B ▲ゲーム理論B ▲マーケットデザイン ▲厚生経済学 ▲経済学史A・B ▲社会経済学A・B ▲社会保障入門 ▲労働経済学入門 ▲グローバル経済史 ▲発展途上国経済論A・B
	●経済学科オムニバス ●ミクロ経済学入門 ○ミクロ経済学 ○マクロ経済学 ○経済思想入門 ○経済史入門	▲経済学オムニバス ▲ミクロ経済学入門 ▲マクロ経済学 ▲経済思想入門 ▲経済史入門	▲金融論 ▲ゲーム理論A ▲社会思想史 ▲情報経済学 ▲戦後の経済学A・B ▲フィールドスタディA	▲証券経済学 ▲証券経済学 ▲法と経済 ▲社会的選択理論 ▲経済学史A・B ▲社会経済学A・B ▲競争政策論 ▲労働経済学 ▲経済人類学
	▲事業創造入門	▲事業創造	▲価値創造プロジェクト論A・B ▲コーポレートファイナンス ▲戦略の経済学A・B ▲フィールドスタディA	▲インターネットビジネス
	▲地域科学入門	▲地域科学	▲地域経済論 ▲都市経済学 ▲地域科学論 ▲環境経済学	▲地域分析論 ▲地理情報分析論 ▲フィールドスタディB・C・D
	選択科目 ▲経済学のための英語講読 ▲経済学特別講義A・B ▲情報社会と情報倫理	▲海外研究者特別講義A~D ▲特別演習I ▲経済学特別講義C・D ▲キャリアデザインI	▲特別演習II ▲起業戦略論A・B ▲実践ビジネス英語A・B ▲情報社会と経済A・B ▲産業戦略論A・B ▲経済学のための情報技術 他	▲キャリアデザインII ▲特別演習II ▲ベンチャーワークショップA・B ▲人間関係論A・B ▲経済学ジョイントコースA・B ▲経済学特別講義E・F 他
	▲簿記原理 ▲経営入門 ▲経営学総論	▲会計学総論 ▲財務会計論 ▲交通経済入門	▲交通経済論 ▲保険論入門 ▲保険論 ▲債権法I・II ▲物権法I・II ▲概説哲学	▲債権法III ▲行政法I ▲労働法 ▲会社法I・II ▲企業取引決済 ▲企業取引法 他
	他大学の授業科目のうち経済学部教授会が適当と認める授業科目 他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち経済学部教授会が適当と認める科目			

科目の詳細
シラバスWeb版



取得可能(有利)な主な資格

- ☑ 中学校・高等学校教諭一種免許
- ☑ 税理士
- ☑ 行政書士
- ☑ ファイナンシャル・プランナー など

卒業生の声

視点が変われば、考え方も変わる。
その気づきが教師としての指針に。

経済理論や経済史、財政・金融、コンピュータ解析技術まで、本学科には幅広い科目が網羅されています。私は社会保障、国際経済、発展途上国経済に関心を持ち、専門的な学びを深めました。興味ある分野を主体的に学習できたことは、勉学に励む面白さや、新しい知識を得る楽しさを実感する貴重な機会となりました。さらに、ゼミでのディベートなどを通して異なる視点に触れ、自分の視野を広げることで、「正解は一つではなく、状況や立場によって見え方が変わる」ということに気づきました。

この学びは、現在、高校の地理教員として働く中で、特に生徒と向き合う際の大きな指針になっています。私は教師として知識を伝えるだけでなく、生徒と共に考え、一人一人の個性を伸ばすことを大切にしています。生徒の視点に立ち、学ぶ楽しさを実感してもらえよう、日々の授業づくりや関わりに生かしています。



天野 遥平 さん (2023年卒業)
福岡県立京都高等学校(教諭)

科目ピックアップ

経済学科

経済学史 A・B

皆さん、アダム・スミスの名はよくご存じだと思います。経済学という学問はそれ以来250年にわたって発展してきました。この授業では、それぞれの時代の経済問題や経済環境の変化と苦闘の中で、経済学がどのように発展してきたかを学んでいきます。前期には、経済学が誕生してから、近代の経済発展や経済生活を分析する学問として確立していく過程を学びます。また、後期には、1930年以降の産業の巨大化や経済構造の激変のなかで、新しい経済理論がどのように作られ、また、精緻な科学としての地位を得ていったかを学習します。いわば、歴史を通じた現代経済学入門です。

証券経済学

この授業では、まず証券とは何かを簡単に説明します。特に株式や債券に焦点を当て、その種類、売買の仕組み、市場、市場関係者とその役割、各種指標等について解説します。また、直近の証券市場について話題となっている事項について企業の財務諸表や投資に関する統計データ、新聞や雑誌の記事などで確認しながら学んでいきます。財務諸表や会計制度などについても併せて解説します。授業中に紹介する参考文献やウェブサイトを目を通すなど、授業で扱った事項に関して自ら積極的に情報収集し、考えることでより理解を深めることができます。

財政学

日本の財政は、関連するニュースを見ない日は無いほど注目されています。実際、財政状況については「いずれ破綻するのでは？」という悲観的な意見から、「破綻の懸念はない」とする楽観的な意見まで、多様な主張が飛び交っています。この授業では、租税や財政赤字といった財政問題に対し、経済理論に基づいた客観的な考察を行います。複雑な問題の本質を見抜く視点は、皆さんが将来、社会を生き抜くための武器となるでしょう。

社会経済学 A・B

この授業では社会の諸問題、特に、人口、家族、情報、労働に関する問題について学びます。授業の目標は二つ。一つ目は社会の諸問題に対する経済学的な考え方を理解すること。そして、二つ目はミクロ経済学やマクロ経済学で学んだ経済学の分析道具が社会問題の分析にどう使われるのかを学ぶことです。世界各国の社会問題を具体的に取り上げて実践的な授業としながら、経済学の基本的な考え方もしっかり学びます。

日本経済論

日本経済論では第二次世界大戦後から講義を行っている年までの財政政策・金融政策の移り変わりを学びます。昔行われた政策が現代の日本の経済や制度に影響を与えているため、現在の日本の問題を理解する上で過去にどのような政策が採られたのかを知ることは重要です。この講義で現在議論されている政策や日本の制度がどのような経緯で問題となっているのか、どこが論点となっているのかが分かるようになります。



産業経済学科

地域科学論

地域やまちを再生、活性化していくためにはどのような政策や戦略が有効かの考察を「根拠(エビデンス)に基づく政策科学研究」として行います。これは、地域科学ユニットが社会に提唱している政策研究の手法です。授業では、考察対象の地域やまちの現場視察、調査の設計や実施、データ解析を行い、その結果に基づき地域やまちづくりの政策や戦略を議論します。また、地域やまちの再生、活性化ばかりでなく、ICTやスマートフォン、そしてAIなどを用いたビジネス論や政策科学も学習します。

フィールド スタディ A~D

地域や組織、日常などのフィールドは、社会現象の舞台になっています。本科目では、フィールドに対する調査と分析を企画して実行できるように、その技術を実習形式で学びます。調査対象のサンプリング、質問作成およびデータ解析など、正確で信頼性の高い情報を生み出し、それを考察できる力を養います。また、実際にフィールド調査を行い、データを解析し、それらの結果をまとめた発表なども行います。発表を通して、他グループと議論を重ね、自分たちの企画設計を見直し、より良い調査企画へと高めていきます。

価値創造 プロジェクト論

地域や社会の課題をビジネスで解決する力を学ぶプロジェクト実践型の講義です。AIやデータの活用、起業が注目される時代に、学生は企業や自治体と連携しながら、企業や地域、社会のことを分析し、新たなサービスや事業を考えます。プランを発表し、実際の企業や地域の人に提案する機会もあります。

講義では、課題を見つけ、仲間と議論し、形にする経験を通して、「自ら考え挑戦する力」、「チームで協力して価値を生み出す力」、「地域や社会の課題を解決する力」を身に付けます。



ゼミ紹介

経済学科

赤羽根ゼミ



A 四つの班に分かれて他大学と討論
B 他大学とのディベート後に班員で記念撮影
C 討論の様子

自主自律をモットーに!

〈研究テーマ〉 ミクロ経済学 / 契約理論

赤羽根 靖雅 准教授



スキーや長距離ドライブなどいろんなことをやってきましたが、今はお金がかからない自転車が趣味です。道具を使って速く移動するのが好きです。

先生が楽できるゼミが良いゼミです。

赤羽根ゼミは2年次生から4年次生まで3学年が在籍します。3年次生の活動が軸になり、他大学とのディベートを目標に1年間グループワークを行います。2年次生は準備段階で、グループワークを中心に経済学や経済問題への取り組み姿勢を学んでいく期間です。4年次生は3年次生の時の活動を土台に卒業論文を作成します。研究テーマは、全て学生自ら見つけます。もちろん、赤羽根は聞いて、意見を言って、ゴーサインを出すこともあれば、難色を示すこともあります。ただ、最終的には学生達が自分の責任で決定します。これは2年次生から4年次生まで一貫しています。テーマ選びで失敗して大変なことになることもありますが、それも経験。問題なしです。

こんな赤羽根ゼミの特徴はなんといっても、タテの繋がりを大切にすること。2限に3年次ゼミ、3限に2年次ゼミを行い、間の休休みに合同ゼミを開いています。そこに4年次生も顔を出す形で交流するんです。4年次生は3年次生の時の経験を伝え、3年次生は2年次生を指導するし、活動報告もする。下級生に良い顔をしないとイケないので大変かも。2年次生は上級生の胸を借りるつもりで発表します。先輩の前で発表って緊張します



ゼミメンバーでの親睦会

よね。こうすることで、自らテーマを見つけ、考え、話し合う姿勢が上から下へ受け継がれ、伝統が形作られています。先生はというと…基本見守るだけ。タテ・ヨコの関係ができれば、やるべきことは学生が自発的にやってくれます。赤羽根は成果を聞いてそれにコメントする程度。楽そうですね。先生が楽できるということは、みんながきちんと活動しているということ。問題なしです。でも、、、何かあれば先生はビシビシと指導しますよ。怒ることもありますね。こんな感じの自主自律を大切にできるゼミ、それが赤羽根ゼミです。

産業経済学科

江口ゼミ



A ディベートの表彰式
B ゼミ中の何気ない一コマ
C ゼミでのプレゼンの様子
D 卒業式にて
E 秋吉台へ日帰り旅行

身近なところから着想を、データを駆使して科学する。

〈研究テーマ〉 環境・エネルギー経済学 / オペレーションズリサーチ

江口 昌伍 准教授



スパイスカレー作りが趣味で、家には20種類以上スパイスがあります。休日は糸島の海沿いをドライブしたり、ゴルフを楽しんでいます。

考える力を育てよう。

産業経済学科では、2年次生からゼミに所属できます。私のゼミでは、2年次には学生同士でのディベートを行います。私が大学生時代に所属していたゼミでは、毎年夏休みに他大学のゼミと合同でディベート大会を行っており、それが思考力やディスカッション能力を伸ばす良い訓練になった経験から、自分のゼミでも取り入れています。ディベートのお題としては、経済学に関連するものから、環境・エネルギー問題に関連するものまで幅広く扱います。毎回のディベートでは、賛成派と反対派に分かれてプレゼンと議論を行い、それを聞いた学生たちの投票により毎回勝敗を付けて優勝を争います。

3・4年次には、各自の興味に合わせて卒業論文を作成していきます。論文のテーマとしては特に制約は設けず、環境問題や地方の人口減少、あるいは、自分が卒業後にいきたい業界について分析する人もいれば、バイト先など身近なことから着想を得て分析を行う人もいます。過去にゼミに所属した学生の紹介をすると、その学生はアパレルの店舗でアルバイトをしており、将来はその店舗を運営する本社に就職したいという目標を持っていました。そこで、卒業論文としてその企業の



夏休みに福津の海岸で

財務データを読み解き、他のアパレルブランドと比較した際にどのような強みと弱みがあるのかを分析しました。店舗という現場も知っていて、なおかつ経営者の目線でも会社運営を考えられる人材は非常に魅力的ですね。その甲斐があったかは定かではありませんが、その学生は見事その企業に就職することができました。「理論や手法の習得だけでなく、現場も知る」ということは、私がゼミで大切にしていることの一つです。

経済学ってどんな学問？ — 特徴を二つ紹介

① インセンティブ＝意欲を重視

楽曲には著作権があり、他人の作った楽曲の利用には制限があります。なぜそのような制限があるのでしょうか？

それは、作曲者が十分な見返りを得られるようにするためです。もし一度発表された楽曲が誰でも自由に聴いたり流したりできると、作曲者はそれを販売したりすることができず、作曲にかけた労力に対する見返りが得られません。結果として、作曲して世の中に発表しようという人はとても少なくなってしまうでしょう。著作権という仕組みがあることで、人々の「作曲しよう」という意欲・動機を生み出しているのです。

このような、人々の「〇〇しよう」「〇〇したい」という動機のことをインセンティブと呼びます。

税制改革や感染症対策でも、あるいはフリマアプリの設計やジェンダー格差の解消でも、はたまた楽市楽座やマニュファクチュアでも、社会の仕組みを考えるときには、経済学は、人々のインセンティブを考慮して評価・デザインします。仕組みが人々の行動をどのように変え、社会にどのような結果をもたらすかを考えるということです。

② エビデンス＝根拠を重視

例えば、少子化を食い止めるためには、「どうしたら子育て世代が子どもを産みたがるか」というインセンティブについて考えることになります。

ここで政府ができることは色々あります。例えば、

- A 出産したときに補助金を出す
- B 子育ての時間を確保できるよう育休制度を充実させる
- C 子どもにかかる学習の費用を免除する

といったような対策です。どれも子どもを産むインセンティブを高めてくれそうです。しかし、財源は限られていますから、この中で、最もコストパフォーマンスの良い組み合わせを選ぶ必要があります。

そのために、経済学は、それぞれの対策がどれだけ出産を増やすかの効果をデータから測定・評価します。このようなデータに基づいた合理的な根拠をエビデンスと呼びます。そのために、どのようなデータを収集すべきか、それをどのように分析すべきかを経済学は教えてくれます。確かなエビデンスに基づいて、より良い仕組みを作るためのツールを備えた学問なのです。



経済学部Q&A

Q 「経済学」とはどんな学問ですか？

A 簡単に言うと、経済学は人間の行動を対象としている学問です。中でも人間の意思決定を分析することに重点を置いています。経済学は景気や失業、税金などいわゆる「経済」と言われるものを扱う学問でもありますが、近年の学問の発展により、法律や都市開発、政治、心理、脳の働きなど、他の学問と重なる分野も分析の対象としている応用範囲の広い学問です。

Q 経済学部の人材養成の目的は何ですか？

A 経済学部では、経済学を中心とした領域横断的な学修を通して、自らの人生も豊かにできる主体性と協調性を備えるとともに、社会に貢献できる人材を養成することを教育研究の理念とします。この理念に基づき、高度な専門知識と論理的思考力及びデータ分析能力を修得することによって、国際的な諸問題から地域や企業が抱える諸問題に至るまで、その原因を究明し、解決策を立案する能力を身に付けた人材を養成することを目的としています。

Q 経済学部と商学部の違いは何ですか？

A 両学部とも、社会の経済的な側面を学ぶことを学修の中心とする点で共通しています。そのうち、商学部では実務的な能力の習得に比重が置かれ、経営・会計・貿易などに関する科目が多く提供されています。一方、経済学部は社会の仕組みを理解する能力の習得に軸を置いています。政策や制度、組織や戦略を理解し、評価・デザインするスキルは、ビジネス・行政のさまざまな場面で生かされる能力です。こういった能力の発展を重視するところに経済学部の特徴があります。



Q 経済学科と産業経済学科の違いを教えてください。

A 経済学科では、経済学とその関連分野の学びを通して、制度や政策が私たちの生活や社会にどのような影響を与えるかを理解し、現代社会のさまざまな課題の解決策を構想する力を養います。産業経済学科では、フィールドワークでの多様な人々との協働やデータ分析の活用などを通して、企業や地域が抱える課題を解決する方法を実践的に学び、その解決に取り組み力を養います。

Q 経済学部には、学外に出て行う授業もあるのでしょうか？

A 産業経済学科のコアユニットでは、学生自らが街に出かけて調査をしたり、企業や自治体の方と協働して新たなサービスやプランを考え、発表したりする授業があります。こうした授業を通して、理論のみにとどまらない理解や実践的な能力を身に付けることができます。これらの活動は、メディアでも度々取り上げられ、社会から注目されています。実社会での仕事にも直結する力を養うことは、将来の仕事を決める上でも役に立つでしょう。

Q 経済学を学びながら何か資格をとれますか？

A 経済学部では、バラエティーあふれる内容を学ぶことで幅広い視野を持ち、総合的に時代や社会を見る力を養います。税理士やファイナンシャル・プランナー、教員などの専門職を目指す学生を支援していますので、いろいろな資格試験にチャレンジしてみてください。

Q 経済学部の卒業後の進路はどうですか？

A 経済学部の卒業生は大学で学んだ知識を生かして多くの場で活躍しています。

企業	卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業、建設業など
専門職	税理士、公認会計士、行政書士、社会保険労務士など
官公庁等 専門職	国家公務員、地方公務員、独立行政法人や特殊法人等の職員
大学院進学	本学大学院、他大学の大学院

キャリア・就職について

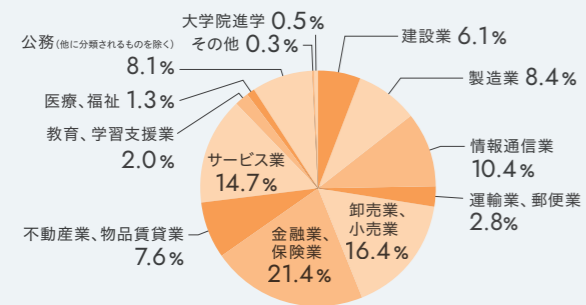
本学部では、卒業後の将来を考えるための「キャリアデザイン」という科目を履修できるのが大きな特徴です。キャリアコンサルタントや実務家、キャリアデザインの専門家による講義やサポートで、個性や適性に合った進路を見つけることができます。

経済学部全体の就職率 (2025年度)

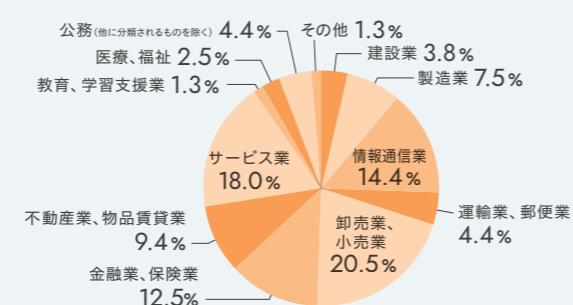
96.3%

業種別比率

● 経済学科



● 産業経済学科



主な就職・進路先 (2023年度～2025年度実績)

経済学部の主な就職先(企業名)はこちら ▶



● 経済学科

就職先
積水ハウス(株)
TOPPAN(株)
旭化成(株)
トヨタ自動車九州(株)
(株)正興電機製作所
(株)三井ハイテック
西部ガス(株)
(株)NTTデータ九州
(株)ゼンリン
Qsol(株)
(株)NTTドコモ
日本航空(株)(JAL)
西日本鉄道(株)
(株)あらた
住友商事九州(株)
(株)西日本シティ銀行
(株)ゆうちょ銀行
野村證券(株)
東京海上日動火災保険(株)
福岡県教員(中学校)
佐賀県教員(中学校)
財務専門官
福岡県庁
熊本県庁
福岡市役所

● 産業経済学科

就職先
住友林業(株)
(株)クラフティア
レンゴー(株)
SMC(株)
(株)マルタイ
(株)富士通ゼネラル
アイリスオーヤマ(株)
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)
九州電力(株)
西部ガス情報システム(株)
(株)シティアスコム
NTTドコモソリューションズ(株)
(株)QTnet
日本通運(株)
(株)PALTAC
ユアサ商事(株)
(株)福岡銀行
楽天銀行(株)
日本生命保険(相)
九州労働金庫
(株)船井総合研究所
熊本県教員(中学校)
国家公務員一般職
国税専門官
鹿児島県庁

教員・研究の紹介

詳しくは
福岡大学研究者情報 をCheck!



経済学部に所属している教員をご紹介します。 ※2026年4月1日現在

経済学科



近郷 匠 教授
専門分野 「理論経済学」

みんなで何かを決める方法・仕組みについて研究しています。例えば、みんなで協力して稼いだ儲けを不満が出ないように分けたり、集団内で一人一人の希望に応じて仕事をうまく分担するといった問題です。



佐藤 伸 教授
専門分野 「理論経済学」

複数の意見、好み、判断を何らかの方法で集約して社会的に選択する場面は、経済政策の決定や家族で夏休みにどこに行くか等、多くあります。そのような場面における望ましい制度設計について研究しています。



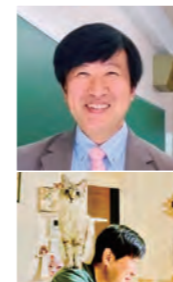
田中 昌宏 教授
専門分野 「ベイズ統計学」「機械学習」「計量経済学」

大規模なデータを分析するための統計学的手法について研究しています。特に、分析者の主観的な判断とデータの持つ情報を適切に組み合わせるためのツールや高速なアルゴリズムの開発に取り組んでいます。



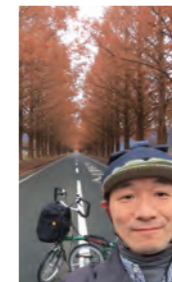
玉田 桂子 教授
専門分野 「経済政策」

労働経済学という分野で、労働者の持つスキルと企業が要求するスキルの差が賃金に与える影響や、男女の不平等や制度の違いが男女の学力差に与える影響などについてデータを用いて研究しています。



山崎 好裕 教授
専門分野 「理論経済学」「経済学史」「計量経済学」

東京大学で理論経済学と計量経済学を専攻し、博士号を取得しました。経済学の講義の他、いろいろなテーマで、講演・講座を日本全国、あるいは海外でも行っています。YouTubeチャンネル配信、新聞連載小説執筆もしています。



赤羽根 靖雅 准教授
専門分野 「ミクロ経済学」「契約理論」

主な担当科目はミクロ経済学、情報経済学です。私の授業を受けると、基礎理論が学べます。金融理論や企業経済学、国際経済学など幅広い分野を理解する助けになりますよ。皆さん、ぜひ一緒に勉強しましょう。



秋本 清香 講師
専門分野 「マクロ経済学」

経済成長に関する研究を行っています。たとえば、これまで人間が行っていた仕事をロボットや人工知能が担うようになった場合、賃金や雇用、国の経済活動や経済成長率はどうなるのかなどを考察しています。



下津浦 大賀 講師
専門分野 「環境経済学」

国際海運がどのような貨物をどこからどこまで運んでいるのに関心があります。現在は、船舶の買い換えシミュレーションなどを行い、国際海運からの二酸化炭素を削減するために必要な対策を比較・検討しています。





有岡 律子 教授
専門分野 「金融・会計制度」

環境変化のもとでの金融機関や企業の行動、規制の変更等を研究しています。最近は、人口減少下での地域金融機関のあり方に目を向けています。コロナ禍で始めた苔玉やスプラウトの栽培にも興味があります。



井手 豊也 教授
専門分野 「貿易理論」

貿易理論の研究を専門に行っています。簡単なモデルを用いて、各国がどのような要因で財を輸出し合うのか(比較優位)、また、関税等の貿易政策がもたらす影響について研究を行っています。



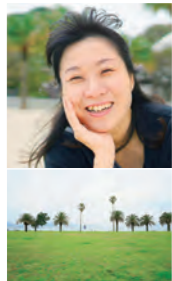
姜 文源 教授
専門分野 「経済理論」「経済政策」

私が担当する科目は、「国際経済学概論」といいます。国際経済学の基本的な理論を学んだ後、17世紀以降の世界貿易の歴史、制度的変化、近年の世界経済の動向などを勉強しています。とくに、東アジアの経済、社会、文化に興味を持っている学生はこの授業で楽しく学べると 생각합니다。



瀬戸林 政孝 教授
専門分野 「経済史」

アジア経済史では、我々を取り巻くアジアの経済がどのように発展してきたのかについて見ていきます。数百年間にわたるアジア地域の経済的な変化や特徴について学び、現在、成長著しいアジアの経済が発展した理由について一緒に考えてみませんか。



中村 由依 教授
専門分野 「経済政策」

発展途上国の貧困削減政策に関心があります。貧困に苦しむ人々を的確に見つけ出し、効率的に援助していくための政策は何か？ 彼らの賃金を上昇させるための最適な教育制度は何か？ など多方面から研究しています。



恩田 正行 准教授
専門分野 「労働経済学」

私の専門は、労働経済学です。労働経済学とは、労働者や企業などの経済主体の行動を、理論と実証で分析する学問です。私は、政府、自治体、そして企業が保有する個票記録を用いた実証分析をしています。



辰己 佳寿子 教授
専門分野 「地域社会論」

経済的な視点のもとより、社会・文化的な視点も加えた村落研究を行っています。国内外の農山漁村のフィールドワークを通して、多様で豊かな生き方が可能となる地域社会のあり方を模索しています。



万 軍民 教授
専門分野 「マクロ経済学」「金融学」「公共経済学」「経済発展」「米中日経済」

バブルや不況原因を家計の投機的貯蓄、企業の過剰投資、銀行の不良債権、財政と金融政策の失策から研究し、米中貿易戦、インバウンド需要とコロナ禍、キャッシュレスでの徴税も探求し、安定的かつ効率的な経済社会の在り方を探っています。



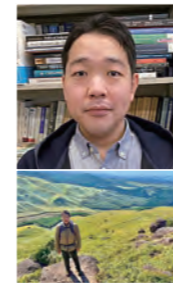
西田 圭吾 准教授
専門分野 「理論経済学」「応用経済学」

経済格差と経済成長の関係について研究しています。具体的には、金融市場の発展が所得分配に与える効果や、所得分配と選挙で選ばれる経済政策の関係に着目し、それらと経済成長との相互作用について分析しています。



野澤 亘 准教授
専門分野 「金融・ファイナンス」

私の専門は金融です。金融の役割は、必要ところで資金を融通することです。そのための仕組みとして、株式や債券、銀行や保険、ベンチャーキャピタルやヘッジファンドがあります。これらの仕組みが実際にどのような役割を果たしているか、ということに興味を持って研究しています。



武井 敬亮 准教授
専門分野 「社会思想史」

私の専門とする社会思想史は、過去の思想家が直面していた問題やその解決策を歴史的・思想的に分析する点に特徴があります。最近では17世紀後半以降の世俗化のプロセス(啓蒙思想)について研究を行っています。



西村 道也 講師
専門分野 「西洋経済史」

前近代のビザンツ帝国(東ローマ帝国)の経済が専門です。主な担当科目は「西洋経済史」です。「経済史」は経済問題を歴史的に考える分野で、「西洋経済史」は西洋(ヨーロッパとアメリカ)という空間を扱います。



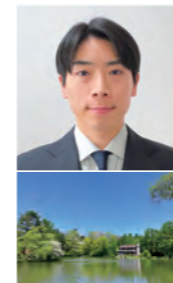
森田 薫夫 准教授
専門分野 「財政・公共経済」「経済政策」

「社会的に望ましい租税はどう特徴付けられるか」が研究テーマです。例えば、高所得者への課税は公平ですが、経済活動を縮小させるかもしれません。このようなトレードオフを考慮した租税の在り方に興味があります。



山下 耕治 准教授
専門分野 「地方財政論」

政府は、どのような行政サービスを家計や企業に提供すべきだろうか、また、その行政サービスは、国と地方(県・市町村)のどちらに任せようか、を研究しています。研究の目的は、地域の活性化や街の魅力を高めることに貢献することです。



菊池 淳一 講師
専門分野 「マクロ経済学」

マクロ経済学を専門とし、物価や消費の動きを研究しています。大規模な個票データ(ビッグデータ)を用いた分析を通じて、人々の行動から経済全体の動きを明らかにし、その背景にある仕組みを探っています。





岡 祐輔 教授
専門分野 「地域経済学」
「地域政策」

地方創生に役立てるための地域政策を研究しています。例えば、そのまちにあった観光や地域ブランドなどを成功させる方法を考え、「この方法を使えば、地域経済を元気にできるのか」といった問題です。



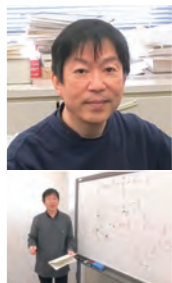
小島 直樹 教授
専門分野 「ファイナンス」
「ミクロ経済学」

私個人は、ファイナンスとミクロ的な視点からの研究をいろいろな分野でしています。現在の経済学は社会経済政治のあらゆる分野が研究対象ですので、必ず皆さんの好みの分野が見つかります。是非とも勉強してください。



西原 宏 教授
専門分野 「ゲーム理論」

専門は、ゲーム理論です。「ゲーム」というと何かの遊びを連想するかもしれませんが、まじめな研究分野です。人々が競争したり協調したりできる状況において、人々の合理的行動は何かを理論的に探求する分野です。



藤本 浩明 教授
専門分野 「動学ゲーム理論」「統計的意思決定論」

経済学は、欧米の大学では、目的(ends)と希少な資源(scarce means)に関連する課題を学ぶ、科学です。そこで、ここでも、例えば、一次関数 $y=ax+b$ ：横軸の原因 x と縦軸の結果 y とに関連付けた、未解決な諸課題を、演繹的(to deduce)にも帰納的(to induce)にも分析・解決してゆく予定です。



渡邊 淳一 教授
専門分野 「理論経済学」

人の“価値”(例えば、プロのサッカー選手や野球選手の年俸など)を測ってみましょう。難しいのは、その人の“価値”というものは(他球団を含めて)周りにどのような人がいるかで変わるといことです。さて、どうやって測りましょうか。



五十嵐 寧史 教授
専門分野 「情報システム学」
「人文地理学」

市役所における情報化を分析、導入がすすむ要因は人口の流入超過だったと明らかに。最近では暗号通貨、ブロックチェーンに興味があります。なぜ貨幣は存在すべきなのか、暗号通貨が安全保障と両立するかを考えています。



梶井 昌邦 教授
専門分野 「地域科学」
「データマイニング」

データや事実といった根拠に基づく、街づくり政策や店舗戦略の分析・提案に関心を持っています。そのために、調査を企画・実施するとともに、統計的手法やデータサイエンス手法の開発を行っています。



李明哲 教授
専門分野 「交通工学」

「オペレーションズ・リサーチ(OR)」は最適化の視点にたった、「問題解決・改善の手法」の学問です。私はORという学問を用いて、都市や社会のさまざまな問題、特に交通問題の解決・改善に努めています。



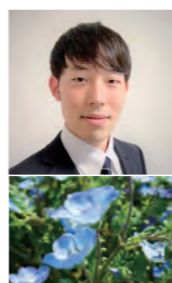
江口 昌伍 准教授
専門分野 「環境経済学」
「環境システム学」

再生エネや環境分野での、企業の生産活動の効率性や製品の技術評価に関する研究をしています。最近では、より少ない努力で効率性を効果的に向上させる企業戦略の提案や、非効率性の原因の見える化に力を入れています。



柳 永珍 准教授
専門分野 「文化経済学」
「地域分析」

地域における人口流入、定住意思に影響を与える社会・経済的な要因について社会調査を活用したデータで、当事者の認識や心理、態度を中心に分析を行っています。特に、文化施設や地域の楽しさという要素に注目しています。



熊谷 惇也 講師
専門分野 「交通地理学」

鉄道やシェアモビリティといった交通ネットワークの発展や変化が、人の居住分布や福利に与える影響を主に研究しています。アンケートや地理情報システム(GIS)を用いてデータを集め、分析を行っています。

暮らしの中にある経済学

Column by
近郷 匠 教授

世の中(社会)を理解しよう。

経済学はお金の流れについて学ぶだけの学問ではありません。理論、実証、歴史、思想などさまざまな視点から人々が暮らす社会(の仕組み)を理解する、それが経済学です。

経済学を選択するメリット

我々の社会(の仕組み)を理解することは、皆さんの卒業後の進路がどんなものでも必ず役立ちます。ですから、将来の目的がまだはっきりしていない人にも、経済学はお勧めです。また、計算、データ処理、資料の解釈などさまざまな方法が用いられますので、皆さん一人一人が自分の得意なことを生かれます。



身近な出来事を経済学の視点で見るとどうなる？

TOPIC 1

SNSでバズった「ポテサラ問題」と自由主義のパラドックス

スーパーの総菜コーナーでポテトサラダを手にしてた幼児連れの女性に、「母親ならポテトサラダくらい作ったらどうだ」と言った高齢男性を目撃したというSNSへの投稿。もし皆さんがこの現場に居合わせたら、何を感じ、何を考えるでしょうか。この問題は「自由」と「効率」のどちらも重視しながら社会のみんなの意見を一つにまとめることの難しさを明らかにした「自由主義のパラドックス」を学ぶと、その理解が深まります。



TOPIC 2

みんなで奪い合いだけど、仲良く分けないともらえない

2人の子どもが仲良く分けるように渡されたおやつのおやつを没収される。大人も同じで、みんなが得できる共同プロジェクトがまとまらず、結果としてみんなが損をする。こういった失敗の原因は必ずしも感情的なものとは限りません。人間の行動への理解を深め、「分ける人と選ぶ人を別にする」といったように仕組みを工夫することによって、失敗を避けることができます。

